

大学コンソーシアム富山 令和6年度「富山学」実施報告

<p>事業名</p>	<p>大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目 「富山学」</p>
<p>実施機関名</p>	<p>富山大学 奥 敬一（富山大学芸術文化学部教授）</p>
<p>趣旨・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 ・フィールドワークや地域のひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 ・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。
<p>開催日時</p>	<p>令和6年9月3日（火）、9月10日（火）、9月17日（火）、 9月24日（火）</p>
<p>開催場所</p>	<p>大学コンソーシアム富山駅前キャンパス研修室1 五箇山合掌造り集落・立山室堂周辺</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生45名 【内訳】・富山大学（28名） ・富山高等専門学校（8名） ・富山県立大学（7名） ・富山国際大学（2名）</p>

<p>事業内容</p>	<p>< 1～3回 9月3日(火) 1限～3限 ></p> <p>1. ガイダンス 講義全体の進め方、成績評価等についての解説 富山県の基礎情報；統計からみた富山</p> <p>2. 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ</p> <p>3. 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する</p> <p>< 4～7回 9月10日(火) 1限～4限 ></p> <p>4～7. 立山室堂および弥陀ヶ原でのフィールドワーク（立山の自然と景観を維持するための取り組みについて） 現地講師：環境省 中部山岳国立公園 立山管理官事務所 国立公園管理官 8:45 富山大学五福キャンパス出発 立山室堂等で4時間程度見学 16:30 富山大学五福キャンパス到着</p> <p>< 8～11回 9月17日(火) 1限～4限 ></p> <p>8～11. 五箇山フィールドワーク 庄川流域現地見学 世界遺産五箇山合掌造り集落でのフィールドワーク（世界遺産を維持するための取り組みと茅刈り体験）～砺波平野散村景観の文化的価値について 現地講師：五箇山自然文化研究会会員 8:45 富山大学五福キャンパス出発 五箇山等で文化遺産維持に関わる体験と見学 16:30 富山大学五福キャンパス到着</p> <p>< 12～15回 9月24日(火) 1限～4限 ></p> <p>12. ここまでの振り返り 9月10・17日の回の事後学習、および9月19日のフィールドワークで学んだ内容について振り返る</p> <p>13. 富山の歴史と生活文化（五箇山の世界遺産としての価値） 富山県内の自然環境に育まれた特徴的な生活文化の景観のうち、五箇山地域について解説する。</p> <p>14. 富山の歴史と生活文化（扇状地の生活文化） 富山県内の扇状地平野に展開する特徴的な生活文化の景観のうち、砺波平野、黒部川扇状地について解説する。</p>
-------------	--

15. 総括

レポートにもとづくグループディスカッションと「富山学」のまとめ

